

下和泉地区

基本理念

みんなが支え合い、安心して健康に暮らせるまち

目指すまちの姿

みんなが支え合い、安心して健康に暮らせるまちを目指します。

○健康づくりに取り組もう！

○支え合おう！助け合おう！

○広めよう！つなげよう！つながろう



第4期計画の取組と成果

【健康づくりに取り組もう！】

○健康チェック（健康講座）

- ・個別の健康相談やリンパ流しケア等を新たに取り入れ、コロナ禍に対応した内容とした。

○健康ウォーキング

- ・コロナ禍でも楽しみながらウォーキングできるよう、お散歩ビンゴを作成し、普及に努めた。
- ・近隣のお勧めスポットをまとめたぼかぼかマップを活用し、新しい発見をしながら歩き慣れた町内をウォーキングできた。
- ・ウォーキングイベントを休日に実施するとともに、果物狩りをコースに入れ、幅広い世代の参加につなげ、地区社協の周知を図った。

【支え合おう！助け合おう！】

○八日会

- ・食事会を弁当配付に変更し、コロナ禍でも継続して一人暮らし高齢者への支援を実施した。
- ・小学生との交流を実施し、多世代交流に努めた。

○子育てサロン

- ・乳幼児を持つ母親支援のため、工夫しながら継続して実施できた。

○役立ち隊

- ・除草や樹木の剪定など、高齢者世帯のちょっとした困りごとの手助けを継続して実施した。毎年の実施回数は30回程度であり、地元からは大変、喜ばれている。町内会の要望に基づき、通学路の除草を実施するなどした。

【広めよう！つなげよう！つながろう】

○広報誌「ほたる」の発行

- ・継続して毎年4回発行した。地域で活動するボランティア団体の紹介にも努めた。

○標語による啓発活動

- ・小中学生、地域住民から「支え合い、助け合い」の標語を募集し、優秀作品を表彰した。
- ・応募者数が令和3年度325点、令和4年度433点と増加し、認知度も上がっている。

○下和泉ハロウィン

- ・令和元年度に始めた下和泉ハロウィンはコロナ禍で一時的に中断したが、令和4年度に再開し、参加者数も増加した。お菓子を配布する場所も令和元年5か所、令和4年6か所、令和5年8か所と増加し、地域での認知度も上がっている。

○町づくり懇話会

- ・これまで年1回の協議で、担い手不足や高齢化などの課題は発掘されていたが、地区社協として課題解決の方向性が見いだせないため、今後は実施しないこととした。

今後取り組む内容・課題

【健康づくりに取り組もう！】

- ・各事業の参加者数の増加に努めたい。またそれをきっかけに身近な地域の教室や講座への参加につながるよう工夫したい。

【支え合おう！助け合おう！】

- ・担い手の不足、高齢化が課題である。八日会では、他の団体と協働しながら、今後の在り方について検討していく。

【広めよう！つなげよう！つながろう】

- ・SNSに地区社協のスローガン、実施内容、下和泉ハロウィンのポスターなどを掲載し、若い世代への地区社協活動の認知度アップにつなげる。